

空への展望台

— 未来に平和を紡ぐ —



ティーダフラッグス 2022

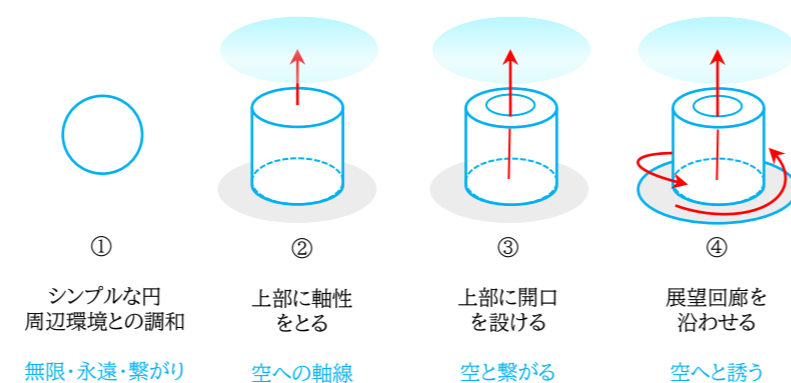
□ コンセプト

海軍壕は多くの尊い人命を失った沖縄戦の中核となった地であり、海軍壕の中での生活は想像を絶する状況だったといえます。

壕から一歩外に出ると、また壕に戻ってこられるかわからない状況下の中でもいつもと同じ空を見上げることが生きている実感を得られたことでしょう。

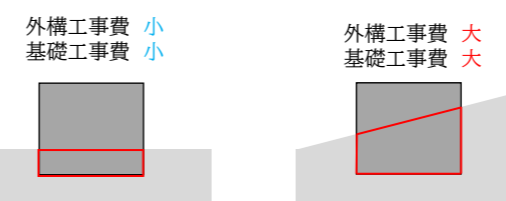
そんな悲惨な記憶がある地に立つ展望台は**当たり前にある景色をあたりまえに眺められること**で平和を実感し、未来に平和を紡ぐ「空への展望台」を提案します。

□ カタチのなりたち

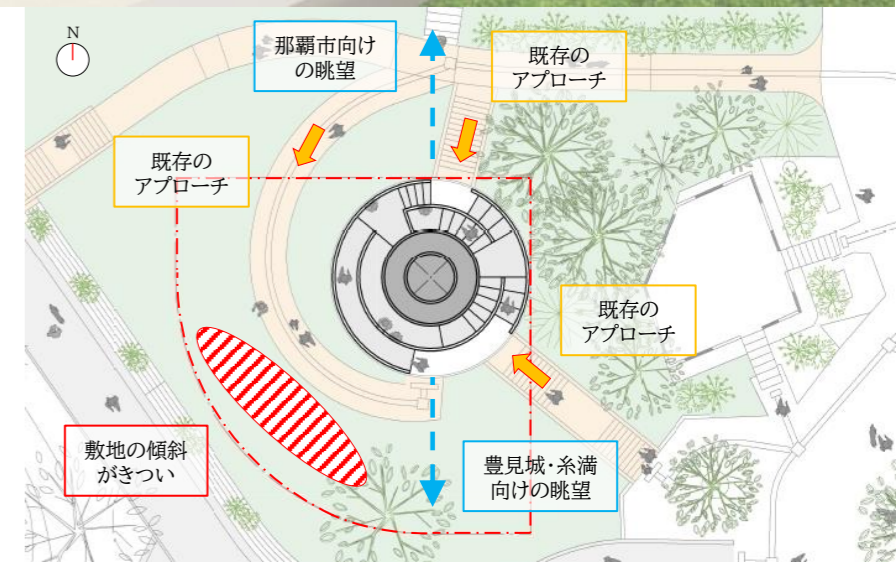


□ 配置計画

- 計画地の南側、西側は傾斜地となっているため余分な造成工事を行わないように展望台は現状の位置とほぼ変わらない位置する。

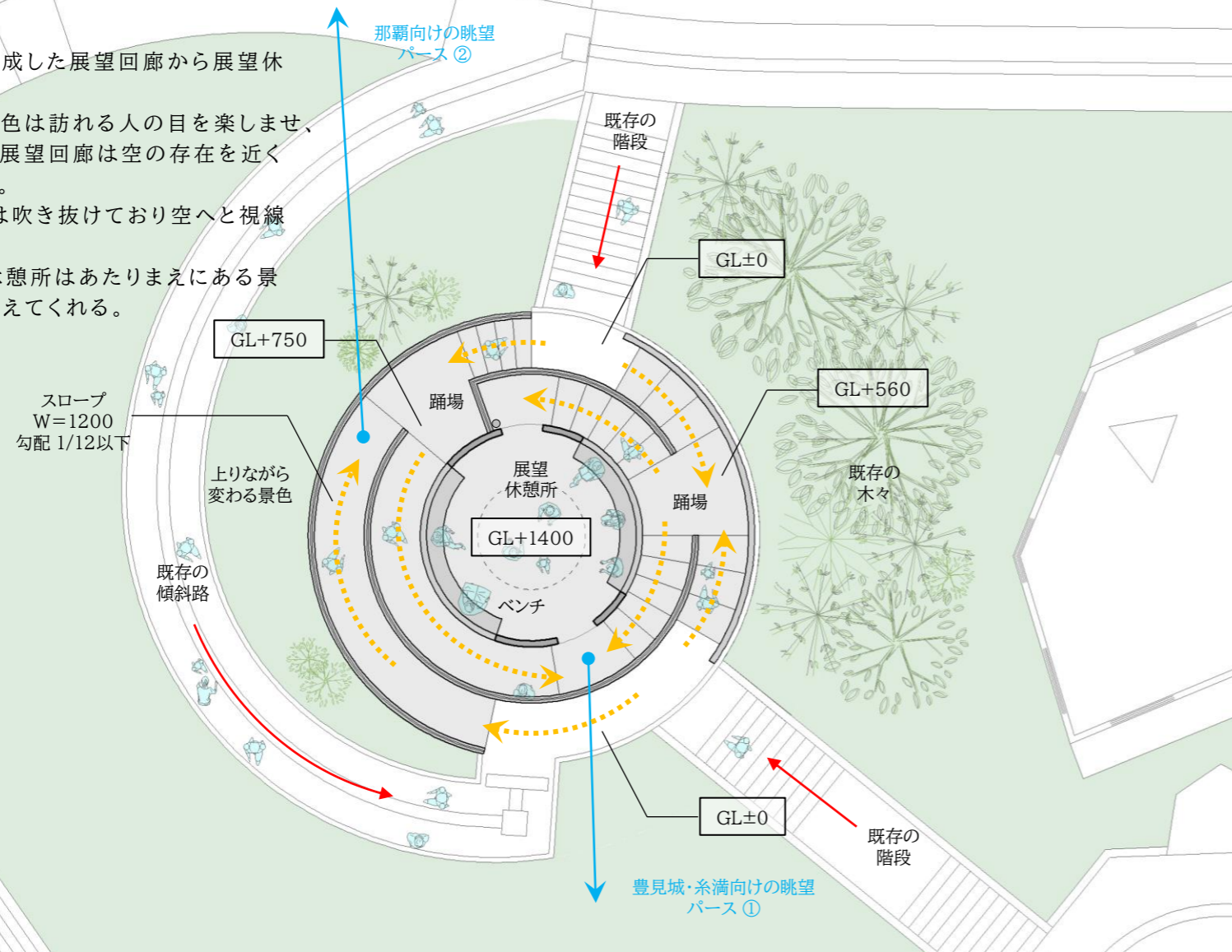


- 現状のアプローチを利用することを大前提とした計画とする。

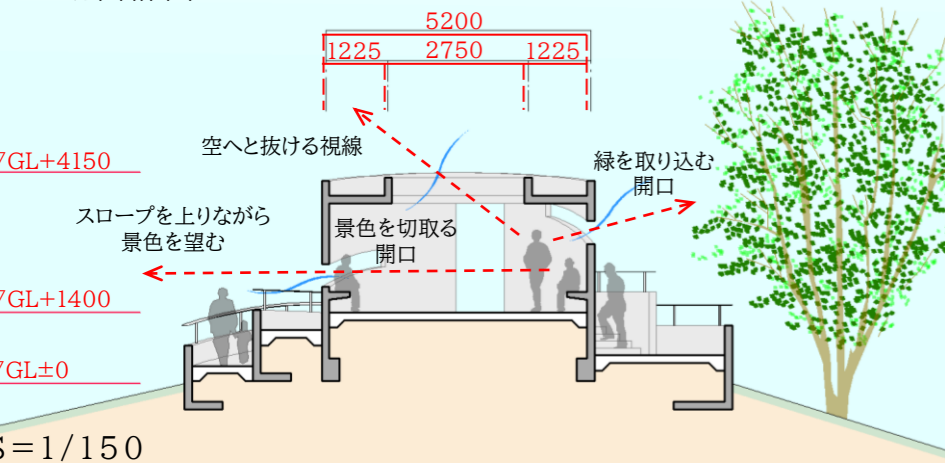


□ 平面計画

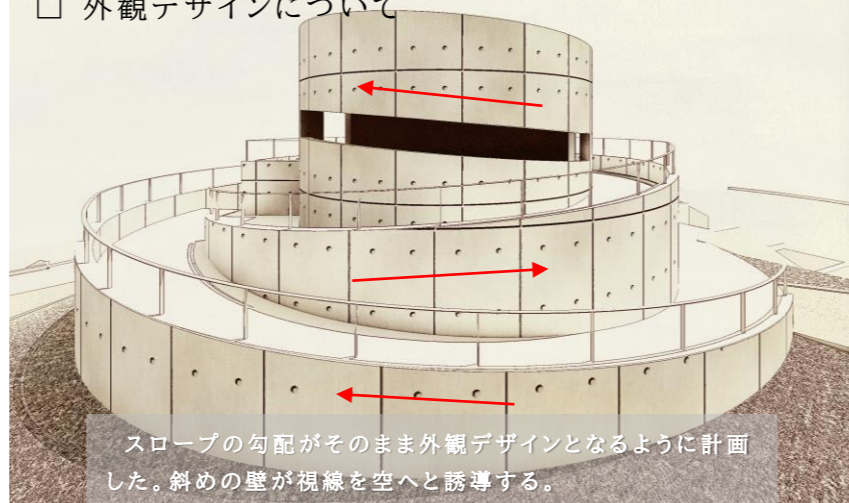
スロープと階段で構成した展望回廊から展望休憩所に向かう。
 上りながら変わる景色は訪れる人の目を楽しませ、
 海拔74mの丘にある展望回廊は空の存在を近くに感じることができる。
 展望休憩所の中央は吹き抜けており空へと視線が抜ける。
 空と紡がれた展望休憩所はあたりまえにある景色の美しさと儚さを教えてくれる。



□ 断面計画



□ 外観デザインについて



□ 周辺環境との調和と空に馴染む仕上げ

「海軍壕公園」全体のランドスケープから感じられる円(○)や、隣接するピジターセンターとの調和を目指しました。スロープの手摺は、車椅子使用者や子供の視点でも、美しい風景を阻害しないような手摺とし、休憩所の床は空や見渡す風景に馴染む色とします。

□ 耐久性と維持管理への配慮

高台に位置することを踏まえ、躯体は耐久性に優れた「コンクリート」とし、劣化に配慮します。建物の保護には、セルフクリーニング機能が備わり、汚れのつきにくい「水性アクリルシリコン樹脂クリア塗装」を採用することで、メンテナンスに配慮、同時にライフサイクルコストの低減を図ります。

建築概要

延べ面積 : 17.25㎡
 施工床面積 : 90.88㎡
 構造 : 壁式鉄筋コンクリート造
 階数 : 平屋

□ バリアフリーへの配慮

スロープは、安全性に配慮して「防滑塗料仕上」とし、来訪者を危険から守ります。勾配は、1/12勾配以下の緩やかな勾配とし、ゆったりとしたスロープ動線とすることで、誰もが訪れやすい計画とします。

